

支援する会ニュース

2022. 6. 2 NO. 83

韓国・金属労組慶南支部 韓国サンケン支会
韓国サンケン労組と連帯する埼玉市民の会
韓国サンケン労組を支援する会

東京都台東区上野1-12-6 3階
中小労組政策ネットワーク気付
Tel:03-5816-3960 fax:03-5812-4086

サンケン電気よ、子に責任を押しつける親はいない！

5月26日に第82回木曜行動がのべ100人余の参加で行われました。6月24日(金)に株主総会が開催されます。支援する会では当日9時半から会場の本社前で株主への働きかけと抗議行動を行います。サンケン電気のパートナー会社や主要株主への要請行動を総会開催までに行う予定です。サンケン電気を社会的に包囲し、争議解決を迫りましょう。

〔本社正門前〕



支援する会の仲間の発言で行動開始。韓国からヤンソンモさんが「5年前に訪日して本社前で訴え、闘って復職できた。しかし工場正常化の夢は壊された。また再び解雇され、闘いを再開せざるを得なかった。こんな苦しいことは繰り返したくないと合意書を結んだが、サンケン電気は投資せず、休業を繰り返した末に、工場は赤字を理由に潰された。合意書の約束は破られた。本社が一方的に決定し、通告してきた。韓国サンケンの社長は『何も知らなかった』と言いながら嘘八百ばかりだ。約束を守らない、一方的に首切りする会社がサンケン電気だ」と訴えました。韓国からはキムヒョンジンさん、キムウニョンさんもアピール。埼玉市民の会、旭ダイヤ労組のアピールが続き、シュプレヒコールで志木駅へ。

〔志木駅南口前〕



埼玉市民の会の発言でスタート。韓国からキムウニョンさんが「賃金は最低レベルでも雇用の保証を重視した。それなのに30年間の私たちの努力を水の

泡にして本社取締役会で廃業を強行した。労働協約や合意書を積み上げてきた私たちの闘いを踏みにじった。サンケン電気経営陣と同じように私たちも人間だ。尊重されるべき人間だ。必ず謝罪させなければ気が済まない」と闘いの決意を述べました。イヘミンさんの日本語での「にほんのみなさん、けんこうにきをつけて」にビックリ。韓国からはヤンソンモさんもアピールしました。群

馬合同労組、サンケン太郎、ゆいの会の『明日を信じて』、ノレの会『連帯闘争歌』、明大生協労組のアピールと歌で行動を終了しました。

〔池袋・東京事務所前〕

渡辺共同代表の挨拶でスタート。韓国からキムヒョンガンさんが「5月7日から20日までソウルにいた。家族と離れているので、よく連れ合いに電話してお互いに体調を



確認した。解雇は労働者と家族に苦痛を強いる。サンケン電気は2回も私たちを解雇した。47年間も韓国で上げた利益を韓国サンケンに還元しなかった。そして廃業して解雇した。労働者に働く環境を整えるのが経営の役割だ。しかし自分たちの経営の失策を労働者に責任を転嫁している。経営者としての責任を一切取ろうとしない」とアピール。日本の支援側からは群馬合同労組、京浜ユニオン、韓青同、全労働者組合、武蔵学園労組、支援する会がリレートーク。怒りのシュプレヒコールで終了しました。

尾澤裁判の勝利に向けて

尾澤裁判の無罪判決を目指し、さいたま地方裁判所へのハガキと署名活動を展開中です。次回の公判前手続は6月6日の予定です。いよいよ初公判日の確定が近づいています。署名活動は支援する会までご連絡下さい。

「尾澤孝司さんを支える会」による報告会「尾澤孝司さんは無罪だ」があります。尾澤さん本人、担当弁護士から裁判闘争のポイントと支援を訴えます。

とき：6月12日(日) 14時～16時半

ところ：葛飾区青戸地区センター四階ホール